

〔様式1〕 平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月21日		記入者	内線	2697
部 名	保健福祉部	課 名	こども育成課	課長名	瀬戸茂美
事務事業名	母親クラブ育成事業				
予算上の事務事業名	母親クラブ育成費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		13120		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます				
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				事業開始年度
施 策 名	第2施策 子育て支援の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市母親クラブ連絡協議会補助金交付要綱				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市次世代育成支援行動計画		少子化が進行する中で、次代を担う子どもと子育て家庭を総合的に支援することを目的に、子育て・子育て支援施策の方向性や目標を定めたもの。		
計画年次	17	年度～	21	年度	
4 事業形態の区分	助成(給付・補助・貸付) ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)				
	地域の母親が子どもに対する正しい愛情と知識を高めるために学習し、子どもの生活環境の整備改善をし、子どもの幸せを図ることを目的とする自主的な団体に対し支援及び育成を行うことにより、地域における子どもの健全育成を図ることを目的とする。			(2) 対象(誰、何)	
				相模原市母親クラブ連絡協議会及び単位母親クラブ(15クラブ・199人)	
	(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。				
	○相模原市母親クラブ連絡協議会補助金交付 330千円 ・連絡協議会分 150千円 ・単位クラブ分 @12千円×15クラブ=180千円				
6 関連・類似事業や他市の状況	県央地区においては、本市のほか大和市、厚木市で同様の補助金を交付している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	432	372	330	390	390
一般財源	432	372	330	390	390
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	0	0	0
人件費の合計	410	394	397	397	397
事業コスト合計(a)	842	766	727	787	787
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	主たる事業名				
	母親クラブ育成費		対象名称(単位)	会員数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	842	766	727	787	787
対象数	228	215	199	150	150
単位あたり経費(円)	3,693	3,563	3,653	5,247	5,247
前年度比		0.96	1.03	1.44	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	単位クラブ数	指標式と指標の説明	補助金交付額の算定基礎となる単位クラブ数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	16.0	16.0	15.0		
目標	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
目標達成度	0.80	0.80	0.75		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	1単位クラブあたりの会員数	指標式と指標の説明	会員数/単位クラブ数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	14.3	13.4	13.3		
目標	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0
目標達成度	95.3	89.3	88.7		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
B	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
C	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			地域での子育て支援という点で、関係団体の育成は必要であると認識しているが、現在、市では各種補助金について運営費補助から事業費補助への転換を図っているところであり、当該補助金についてもあり方を見直す必要がある。
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
より幅広い地域での子育て支援を行うため、母親クラブをはじめとした各種団体が活動しやすい環境を提供するなど支援が必要である。			補助金のあり方を含めた、地域での子育て団体に対する育成及び支援の手法の検討。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
見直し	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			担当課の課長による評価（今後の方向性）のとおりに見直しを進める。
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			